

第 65 回 緑化推進運営協議会

議 案 書

と き 令和 7（2025）年 2 月 25 日（火）

オンライン開催



公益財団法人 大阪みどりのトラスト協会

目 次

1. 報告案件

- | | |
|------------------------------|-----|
| ① 令和 6(2024)年度「緑の募金」事業概要について | P 1 |
| ② 令和 6(2024)年度「緑の募金」収支決算見込み | P12 |

2. 第 1 号議案

- | | |
|-----------------------------|-----|
| 令和 7(2025)年度「緑の募金」事業計画案について | P14 |
|-----------------------------|-----|

3. 第 2 号議案

- | | |
|-----------------------------|-----|
| 令和 7(2025)年度「緑の募金」収支予算案について | P20 |
|-----------------------------|-----|

巻末資料

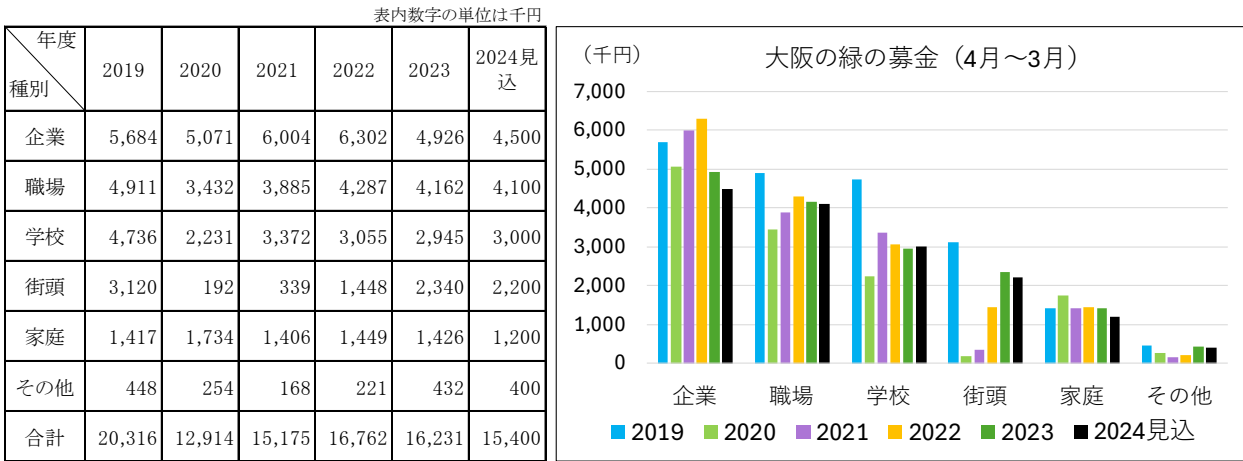
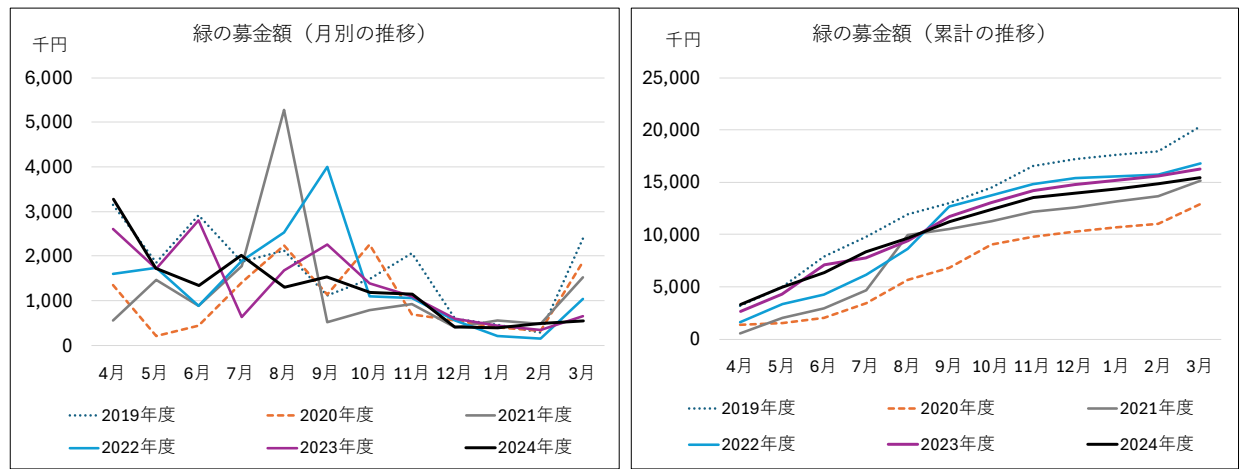
- ・貸借対照表（2024 年 3 月 31 日現在）
- ・正味財産増減計算書内訳表（2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで）
- ・次期繰り越し収支差額についての資料

令和 6(2024) 年度「緑の募金」事業概要

緑の募金収入の状況

2020 年以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、職場募金、学校募金、街頭募金等の募金活動が縮小した。2023 年 5 月に同感染症は 5 類に移行し、募金活動の制限は小さくなったが、緑の募金実施主体別（種別）に募金額の推移をみると、企業募金は有料レジ袋の収益金の一部からなる寄付の減少（原料・加工費の高騰による）を反映して減少した。職場募金、学校募金、街頭募金はコロナ禍以降回復傾向を示したが近年は減少傾向がみられる。

以上のことから、12 月までの実績から見込まれる 2024 年度の年間募金総額は前年比 95%と予測する。



※2024年度の見込みは12月までの実績をもとに1～3月の見込みを加えた

1. 緑の募金推進事業(予算 1,784 千円)

(1) 募金活動推進(予算 1,778 千円、見込 1,984 千円)

【計画】

2024 年度の募金目標額を 15,600 千円とし、以下の団体へ協力依頼し、街頭募金、学校募金、家庭募金、職場募金、企業募金等の募金を呼びかける。

また、令和 6 年能登半島地震への復旧支援として（公社）国土緑化推進機構が提案する「中央交付金の活用」に協力し、春の募金額の 1%程度を復旧支援として収めるものとする。

さらに、街頭募金実施団体には、希望により街頭募金の一部（5%）を「復旧支援使途限定募金」にあてることができることを案内する。「復旧支援使途限定募金」は（公社）国土緑化推進機構が呼びかける募金活動であり、東日本大震災等の被災地域の避難所等における生活環境の改善に向けた様々な木製品の寄贈や緑化の支援等が行われている。

種別	協力団体
街頭募金	日本ボーイスカウト大阪連盟、(一社)ガールスカウト大阪府連盟、大阪府緑の少年団連盟
学校募金	各市町村教育委員会、大阪私立中学校高等学校連合会 他
家庭募金	大阪府内 43 市町村
職場募金 企業募金等	大阪府、大阪府警察本部、近畿中国森林管理局、大阪商工会議所、大阪府木材連合会、大阪商工信用金庫、大阪府生活協同組合連合会、大阪いずみ市民生活協同組合、ダイドードリンコ(株) 他

募金キャンペーン期間を設け、各団体による街頭募金を集中的に実施するとともに、府内各地で行われる各市町村や各種団体等の緑化関連イベント等で緑の募金活動を強化し、周知を図る。

＜キャンペーン期間＞ ・春季 2024 年 3 月 1 日～5 月 31 日
・秋季 2024 年 9 月 1 日～10 月 31 日

＜募金資材の整備＞

緑の募金運動および普及啓発の円滑な推進を図るため、2024 年秋用および 2025 年春用の募金資材を整備し活用する。ただし募金収入の減少予測と、資材の価格高騰を受けて、例年春と秋に製作しているオリジナルのピンバッジは、2024 年秋用の 1 回とし、2025 年春用については製作を取り止め、過去のバッジの活用を協力団体をお願いする。また、資材配布時の配送料高騰を受け対策を検討する。

【実績】

街頭募金、学校募金、家庭募金、職場募金、企業募金等の募金を呼びかけた。

＜キャンペーン期間＞
・春季 2024 年 3 月 1 日～5 月 31 日 ・秋季 2024 年 9 月 1 日～10 月 31 日



大阪府庁舎本館



大阪府庁舎別館



ATC

緑の募金運動および普及啓発の円滑な推進を図るため、2024 年秋用および 2025 年春用の募金資材を整備した。(緑の羽根、緑化バッジ、P R チラシ、ポスター、募金箱)

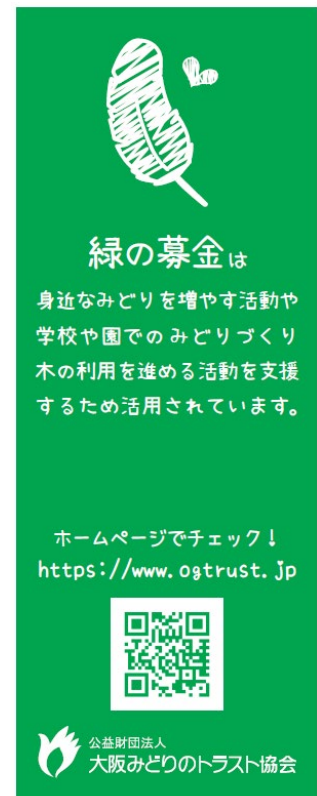
緑化バッジは例年春と秋に製作しているが、募金収入が伸びなかったため 2024 年秋用のみ製作し、2025 年春用は過去のバッジの在庫を活用することとして製作を取り止めた。秋用バッジは大阪府立港南造形高等学校の協力を得て、同校生徒にデザイン画の作成を依頼し、選考会を経て、最優秀賞のデザインを採用した。

資材の価格・配布時の配送料の高騰により、一部チラシのサイズ等を見直した。学校・園で活用している「封筒になるチラシ」の紙厚を薄くし、A4 サイズから A5 サイズに変更しリニューアルした。

再生紙製造販売企業より再生紙を活用した資材提供の申し出があり、緑の羽根に代わる資材として、新たに「しおり」を作成した。緑の募金がどのように活用されているかを掲載しているホームページに誘導できるよう、QR コードを掲載した。2025 年春キャンペーンより活用する。



2024 年秋用クヌギ



しおり (両面印刷)

令和6年能登半島地震への復旧支援として、街頭募金実施団体の希望により春の街頭募金の一部（5%）を「復旧支援使途限定募金（地震被害：能登半島地震復旧支援）」にあてることを案内した結果、ボーイスカウト21団、ガールスカウト7団、緑の少年団1団の賛同が得られ、合計49,470円を（公社）国土緑化推進機構に送った。

また、（公社）国土緑化推進機構の呼びかけに応じ、令和6年中央交付金のうち、春の募金額×0.02の1/2額となる70,073円を「復旧支援使途限定募金（同上）」への支援寄附として登録した。

〈これまでの災害復旧支援活用事例〉（国土緑化推進機構ホームページより）



避難所での木製品（組手什）の組立作業



被災地倒木の整理作業への支援



被災地の植樹活動への支援



組手什（くでじゅう／組み立て什器）



災害派遣職員・災害ボランティア・避難者の皆さまと一緒に組立て。靴箱や支援物資の整理棚等、多様な用途に活用されています。

(2) 募金拡大(予算 6 千円、見込 4 千円)

【計画】

近年、企業からの問い合わせや寄付企画の申し込みが増えつつあり、各企業のニーズに合わせた積極的な対応を行い、協力企業の拡大に努める。

また、現在、家庭募金は募金総額の約 9%にとどまっているため、家庭募金を行っている市や、他府県の事例を参考にして取り組み方法を検討し、大阪府の協力も得ながら市町村への協力依頼を進める。

WEB から募金ができる「つながる募金」や家庭に眠る物品の寄付(お宝エイド)物品寄付や遺贈による寄付等、募金方法の多様化に向けた仕組みづくりに取り組み、ホームページやイベント等で周知し、普及啓発を図る。状況に応じてキャッシュレス募金に取り組む。

【実績】

燃料供給や車の販売・整備等の事業を行っているエネクスフリース株式会社(大阪市淀川区)、および廃食用油回収リサイクル及び販売等の事業を行っている植田油脂株式会社(大東市)の寄付が継続している。

キャッシュレス募金については全国的に導入が滞っていたが、2024 年 8 月から寄付を募ることができるようになったことが PayPay 株式会社から発表されており、今後(公社)国土緑化推進機構とともに導入に向けた取り組みを進める。

募金方法の多様化を進めるため、WEB から募金ができる「つながる募金」※1や家庭に眠る物品の寄付「お宝エイド」※2、2020 年より開始した遺贈募金(JELF「みどりの遺言」プロジェクト)を継続している。

音楽集団 ANKAA のコンサート会場における募金が 2020 年から継続している。

※1 つながる募金：ソフトバンク契約者が携帯料金支払い時に募金もできる仕組みで、ソフトバンク契約者以外もインターネットから募金できる。

※2 お宝エイド：不用品を回収業者へ送ってもらい、買い取られた金額の一部が募金となる仕組み。

2. 緑化推進・森林の整備事業(予算 6,217 千円、見込 5,786 千円)

(1) 緑化事業等交付金(予算 3,390 千円、見込 3,162 千円)

【計画】

募金活動に協力した団体や学校、企業による地域や学校の緑化を推進するため、集められた募金額の 40%を上限に、該当団体の申請に基づき緑化事業等交付金を交付する。

【実績】

募金活動に協力した団体や学校、企業による地域や学校の緑化を推進するため、集められた募金額の 40%を上限に、該当団体の申請に基づき緑化事業等交付金を交付した。

2024 年 2 月～11 月募金振込分まで 260 件 2,607,520 円(参考：2023 年 2 月～11 月募金振込分まで 297 件 3,002,456 円)

(2) 堺第7-3区「共生の森づくり」推進（予算 101 千円、見込 102 千円）

【計画】

地球温暖化防止にかかる運動の一環として、堺第 7-3 区において市民・NPO 等の府民参加で実施されている「共生の森づくり」活動へ助成を行う。

【実績】

「第 1 回共生の森育樹祭」（2025 年 3 月開催予定）に対し助成予定。

(3) 生駒山系花屏風活動支援事業（予算 943 千円、見込 734 千円）

【計画】

生駒山系を屏風に見立てて彩豊かな“花屏風”を作る「生駒山系花屏風活動支援事業」への助成を行う。同事業を推進する生駒山系森づくりサポート協議会の活動や主催行事に参加し、緑の募金の PR を行う。

【実績】

植樹活動、生き物の保全・育成、自然観察会や野外体験学習活動、森林保全等のボランティアを養成する活動等、生駒山系花屏風構想の普及啓発に資する活動への助成を行っている。今年度は 10 団体への助成が決定した。



ハイキングゴール地点での募金活動



植樹イベント風景

(4) 緑の少年団活動支援事業(予算 1,000 千円、見込 1,012 千円)

【計画】

大阪府内の緑の少年団に対して活動助成を行うとともに、「子どもたちが緑や自然に触れ、森林や緑化に関する意識を高める」という目的に沿った連盟の運営・交流行事の開催が行われるよう、各団の自立を促しつつ大阪府緑の少年団連盟事務局として支援する。

【実績】

連盟所属の 4 団に対して活動助成を行った。また、交流集会を花博記念公園鶴見緑地（大阪市）で開催し（11/30）、85 名が参加した。

大阪府内の緑の少年団連盟事務局として総会（6/23）を実施した。



交流集会



総会

(5) 緑化推進運営協議会の運営(予算 17 千円、見込 24 千円)

【計画】

緑の募金の適切な運用を図るため有識者からなる緑化推進運営協議会を年 2 回以上開催する。

【実績】

第 64 回緑化推進運営協議会を 5 月 22 日に対面で開催し、第 65 回を 2 月 25 日にオンラインで開催した。

(6) 募金・緑化功労者の表彰(予算 4 千円、見込 2 千円)

【計画】

募金額をもとに感謝状を贈呈する団体を(公社)国土緑化推進機構に推薦する。

「大阪府みどりの功労者表彰」等、各種の表彰主催団体からの依頼をうけて推薦対象を選出し、推薦資料を作成・提出する。

【実績】

(公社)国土緑化推進機構が定めている感謝状の贈呈基準を照合した結果、感謝状の贈呈はなかった。

「大阪府みどりの功労者」として、当協会が推薦した「特定非営利活動法人 とどろみの森クラブ」が表彰された。同表彰は、緑化の推進、自然環境の保全及び森林の保全に功績のあった個人または団体を表彰するもので、箕面森町(水と緑の健康都市)周囲の丘陵における里山保全活動や新旧住民交流及び世代間交流を促進する里山体験等イベントの取り組みの功績が認められた。

環境省による「「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰」として、当協会が推薦した「高槻里山ネットワーク」が表彰された。同表彰は、自然環境の保全に関して顕著な功績があった個人または団体を表彰するもので、里地と市街地が混在する地域(高槻市)において、市民参加の里山保全活動や体験イベントを通して自然とのふれあい活動を推進した功績が認められた。

(公社)国土緑化推進機構による令和 6 年度「ふれあいの森林づくり」優良団体として、当協会が推薦した「富田林の自然を守る会」が表彰された。同表彰は、農山村と都市との連携・交流などを図りながら森林整備を行い、ふれあいの場創出に功績があった団体を表彰するもので、里山における森林整備などの多様な活動や、日本と海外の若者による「国際ワークキャンプ」など幅広い交流の場の提供の功績が認められた。



「大阪府みどりの功労者」表彰
特定非営利活動法人 とどろみの森クラブ



「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰
高槻里山ネットワーク



「ふれあいの森林づくり」優良団体表彰
富田林の自然を守る会
国際ワークキャンプ大阪富田林 2024 の様子

(7) 国土緑化推進機構対応・中央交付金(予算 762 千円、見込 751 千円)

【計画】

(公社) 国土緑化推進機構に対して、中央交付金(広域的な森林整備や緑化の推進に活用される)として緑の募金の2%相当額に250千円を加えた額を交付する。

【実績】

近畿地区で輪番制となっている(公社)国土緑化推進機構理事として総会に出席した。

中央交付金は、2024年1月から12月の募金額をもとに3月に支出予定。

3. 森林環境教育・森林ESDの推進(予算 1,974 千円、見込 1,972 千円)

(1) みどりづくりの輪活動支援事業(予算 685 千円、見込 782 千円)

【計画】

次世代を担う子どもたちが生物多様性や森林整備、木材の利用等について理解を深める機会となる活動の促進を図ることを目的に、子どもたちの参加による自然環境保全活動や緑化活動、森林整備活動、森林に関する学習等に助成を行う。また、これらの活動組立てや整備計画立案にあたり、専門家による助言を得られるよう、専門家の紹介や相談時の費用助成等の支援を行う。

【実績】

- ・助成事業申請件数 12 件、採択 5 件
- ・専門家派遣 2 件、うち助成事業申請・採択 2 件



みどりづくりの輪活動支援事業の様子

(2) みどりの一歩事業(予算 911 千円、見込 778 千円)

【計画】

幼稚園、保育園、こども園等で身近なみどりづくり(植樹)と環境教育「みどりの教室」を行う。

【実績】

申請 8 件、採択 4 件

(3) 森林環境教育・ESD 推進(予算 83 千円、見込 59 千円)

【計画】

大阪府立中央図書館・林野庁近畿中国森林管理局等と連携し、森林環境教育・森林 ESD の普及啓発を目的としたパネル展等を実施する。

【実績】

大阪府立中央図書館（東大阪市）にて、4/18～ 5/6 の期間中、令和 6 年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールの大阪での入賞作品の展示とともに、「子どもたちにもっとみどりを～緑の募金を活用したみどりづくりや木の利用を進めるための活動支援紹介」パネル展示を行った。

また、近畿中国森林管理局「森林（もり）のギャラリー」（大阪市北区）にて 7/8～7/31 の期間中、同様の展示を行った。



大阪府立中央図書館展示の様子



近畿中国森林管理局
「森林（もり）のギャラリー」展示の様子

（4）教育大学学生向け講習の企画・運営(予算 70 千円、見込 106 千円)

【計画】

大阪教育大学、大阪府森林組合、大阪森林インストラクター会等と連携し、森林 ESD を体験する教育大学学生向け講習を実施する。

【実績】

大阪森林インストラクター会と連携し、大阪教育大学において、「図画工作」授業の時間を活用し、1 回生の学生延べ 90 名を対象に「どこでもできる森林 ESD 体験講座」を実施した。また、大阪府森林組合南河内支店が河南町立かなん桜小学校で実施した「森林 ESD 体験授業」を支援した。



「どこでもできる森林 ESD 体験講座」の様子

(5) ポスターコンクールの実施(予算 225 千円、見込 247 千円)

【計画】

国土緑化運動を推進するためのポスター原画コンクールに参加し、優秀作品を選出し表彰する。

【実績】

(公社)国土緑化推進機構が実施する「令和 7 年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール」に、大阪府内からは、18 校/106 点(参加総数 677 点 ※1 校につき応募は 10 点まで)の応募があった。10/18 の審査会にて優秀作品を選び推薦した。結果、中央審査会にて下記の 1 名が入賞した。大阪みどりのトラスト協会賞 13 名。



【高等学校の部】入選
国土緑化推進機構理事長賞
大阪府立工芸高等学校 1 年
林 千鶴さん
「あの木のように」

4. 普及啓発事業(予算 355 千円、見込 390 千円)

(1) 会報誌・メールマガジンの発行(予算 141 千円、見込 141 千円)

【計画】

前年度の事業報告と当該年度の事業計画をわかりやすく編集した年次報告書形式の会報誌「アニマルレポート」を年 1 回 7 月頃に発行する。イベント情報や保全活動地の様子、緑の募金の活用方法等をまとめたメールマガジンを、会員や関係する団体や個人に月 1 回のペースで定期的に配信する。

【実績】

会報誌「ANNUALREPORT2023 (みどりのトラスト 107 号)」を発行した(7 月)。メールマガジンは、月に 1 回、約 600 の団体や個人に定期配信し、最新の話題提供とホームページへの誘導を促した。

(2) ホームページ・SNS の運営(予算 80 千円、見込 79 千円)

【計画】

ホームページ、SNS (Facebook 及び Instagram) は会報誌やメールマガジンと連動させて、緑の募金のキャンペーン情報や助成事業についてタイムリーにお知らせする。また募金が活用された事業報告等を随時更新する。

【実績】

ホームページ、SNS、メールマガジンを活用し、緑の募金のキャンペーン情報や助成事業等について情報発信を行った。

(3) 普及啓発イベントへの参加(予算 77 千円、見込 105 千円)

【計画】

緑の募金を活用して進める「生物多様性の保全」、「木材の利活用促進」、「森林 ESD の推進」等について理解を深めるため、府民を対象とした関連イベントへブースを出店し、パネル展示等を行い緑の募金への協力を呼びかける。

【実績】

当協会が行うシンポジウム・観察会等のイベント時や、地域のイベント等で、緑の募金への協力を呼び掛けと協会事業のPRを行った。

- ・福田屋トークイベント（5/25）
- ・能勢てっぺんフェスタ（10/6）
- ・枚方環境フェスタ（10/20）
- ・水都おおさか森林の市（10/27）
- ・大阪府木材連合会 SDG's 発表会（11/7）
- ・生駒花屏風ハイキング（11/9）
- ・コープフェスタ（11/9）
- ・大阪自然史フェスティバル（11/16・17）等



コープフェスタの様子

（4）その他(予算 57 千円、見込 65 千円)

【計画】

編集ソフトの年間使用料。

【実績】

ホームページ、会報誌、チラシ等の作成・編集の内製化において編集ソフトを活用した。

5. 推進事業体制の整備(予算 6,181 千円、見込 6,096 千円)

【計画】

緑の募金事業推進に伴う事務所経費および人件費等、必要な事務的経費を支出する。

【実績】

事務所経費、人件費等を支出した。

令和6(2024)年度「緑の募金」収支見込

①

②

単位:千円

項目	2023年度 決算額	2024年度 予算額	2024年度 決算見込	予算対比 ②-①	2024見込 備考
I 収入の部					
1. 緑の募金収入	16,231	15,600	15,403	△ 197	職場募金の減少など
2. 助成金等収入(受取受託金)	50	0	50	50	
3. 運用財産利息収入	0	0	0	0	
4. 民間補助金	0	911	778	△ 133	
5. 雑収入	67	0	1	1	
当期収入合計(A)	16,348	16,511	16,232	△ 279	
前期繰越収入差額(B)	△ 3,298	△ 4,234	△ 4,237	△ 3	
収入合計(C) = (A) + (B)	13,050	12,277	11,995	△ 282	
II 支出の部					
1. 緑の募金推進事業					
募金活動推進	3,056	1,778	1,984	206	資材整備他
募金拡大	8	6	4	△ 2	
小計	3,064	1,784	1,988	204	
2. 緑化推進・森林の整備事業					
緑化事業等交付金	3,348	3,390	3,162	△ 228	募金額の約21%
堺第7-3区「共生の森づくり」推進	210	101	102	1	
生駒山系花屏風活動支援事業	694	943	734	△ 209	使途指定募金額に相応
緑の少年団活動支援事業	826	1,000	1,012	12	
緑化推進運営協議会の運営	15	17	24	7	
募金・緑化功労者の表彰	3	4	2	△ 2	
国土緑化推進機構対応・中央交付金	807	762	751	△ 11	
小計	5,903	6,217	5,786	△ 431	
3. 森林環境教育・森林ESD推進事業					
みどりづくりの輪活動支援事業	645	685	782	97	
「学校に森林と木の香りを」整備事業	626	0	0	0	
みどりの一歩事業(平和の緑づくり事業)	504	911	778	△ 133	民間補助金に相応
森林環境教育・ESD推進	49	83	59	△ 24	
教育大学学生向け講習の企画・運営	303	70	106	36	
ポスターコンクールの実施	191	225	247	22	
小計	2,318	1,974	1,972	△ 2	
4. 普及啓発事業					
会報誌・メールマガジンの発行	143	141	141	0	
ホームページ・SNSの運営	79	80	79	△ 1	
普及啓発イベントへの参加	81	77	105	28	
その他	56	57	65	8	PCソフトライセンス料等
小計	359	355	390	35	
5. 推進事務費	5,643	6,181	6,096	△ 85	
当期支出合計(D)	17,287	16,511	16,232	△ 279	
当期収支差額(A) - (D)	△ 939	0	0		
次期繰り越し収支差額(C) - (D)	△ 4,237	△ 4,234	△ 4,237		

次期繰り越し収支差額について(過年度からの経緯の説明)

2015 年度までの累積赤字が 4,241 千円に達し、これを解消するため、2016 年度に 3,207 千円の黒字を出したものの、監督官庁より「過年度の赤字を次年度以降の黒字で埋め合わせてはいけない」との指摘があり、2017 年度以降は、2016 年度の黒字を解消するように、単年度で赤字となる予算を組んできました。

2023 年度に過年度の黒字を解消したため、以降は累積赤字であるマイナス約 420 万円を繰り越しつつ、単年度での収支均衡をはかることとなっています。

過年度からの経緯の説明資料を巻末資料に添付します。

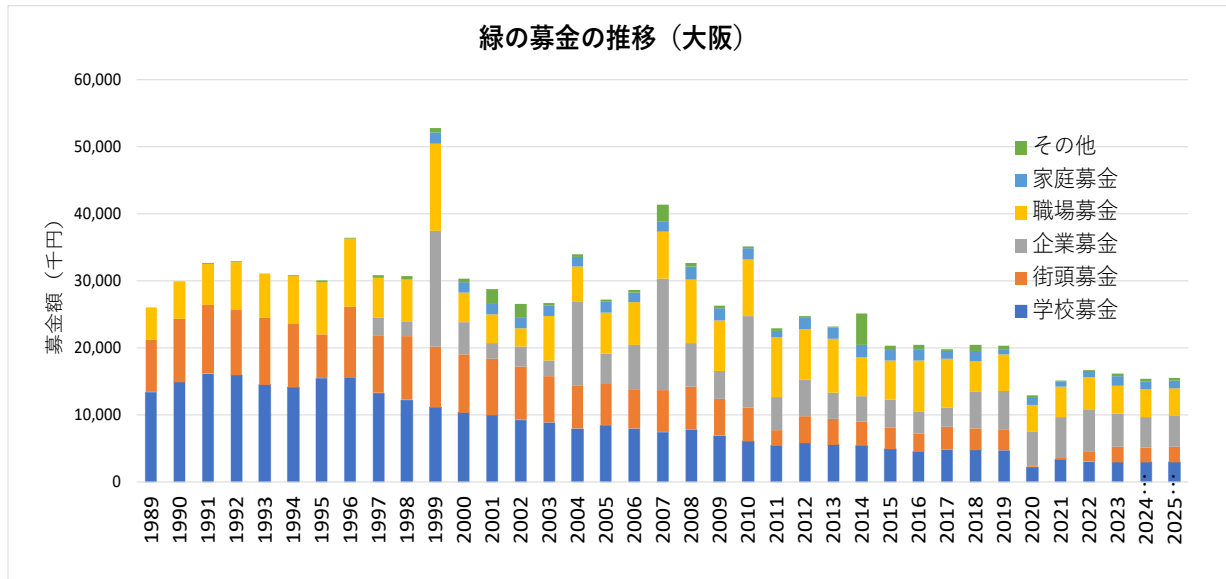
令和 7(2025)年度「緑の募金」事業計画

緑の募金収入の予測

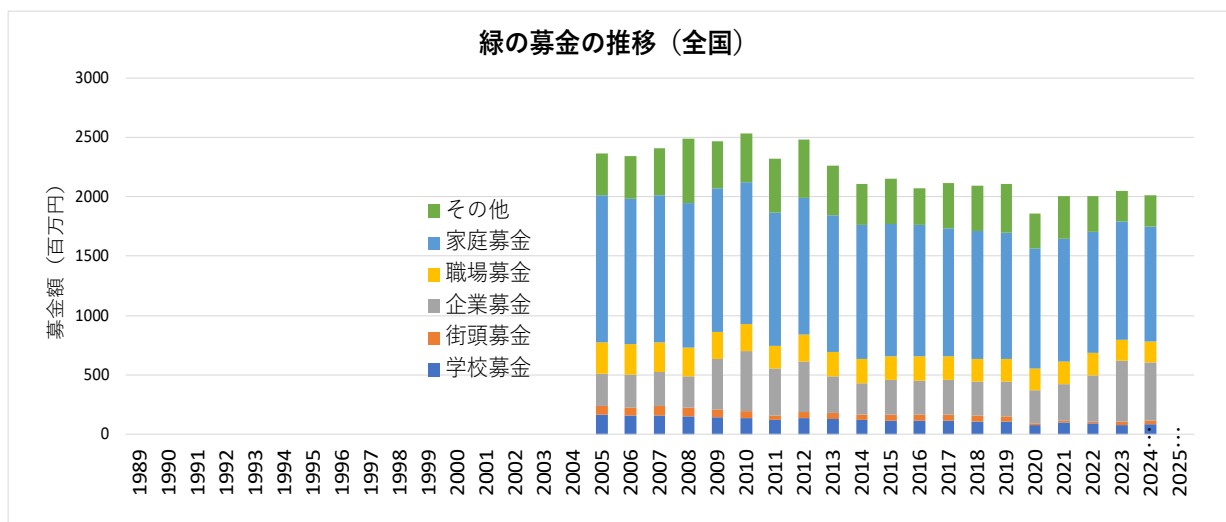
1989 年からの大阪の緑の募金の推移を下図に示す。(参考として、全国の推移も添付した。)

募金額の推移は減少傾向にあり、2020 年にコロナ禍をうけて大きく落ち込んだ。

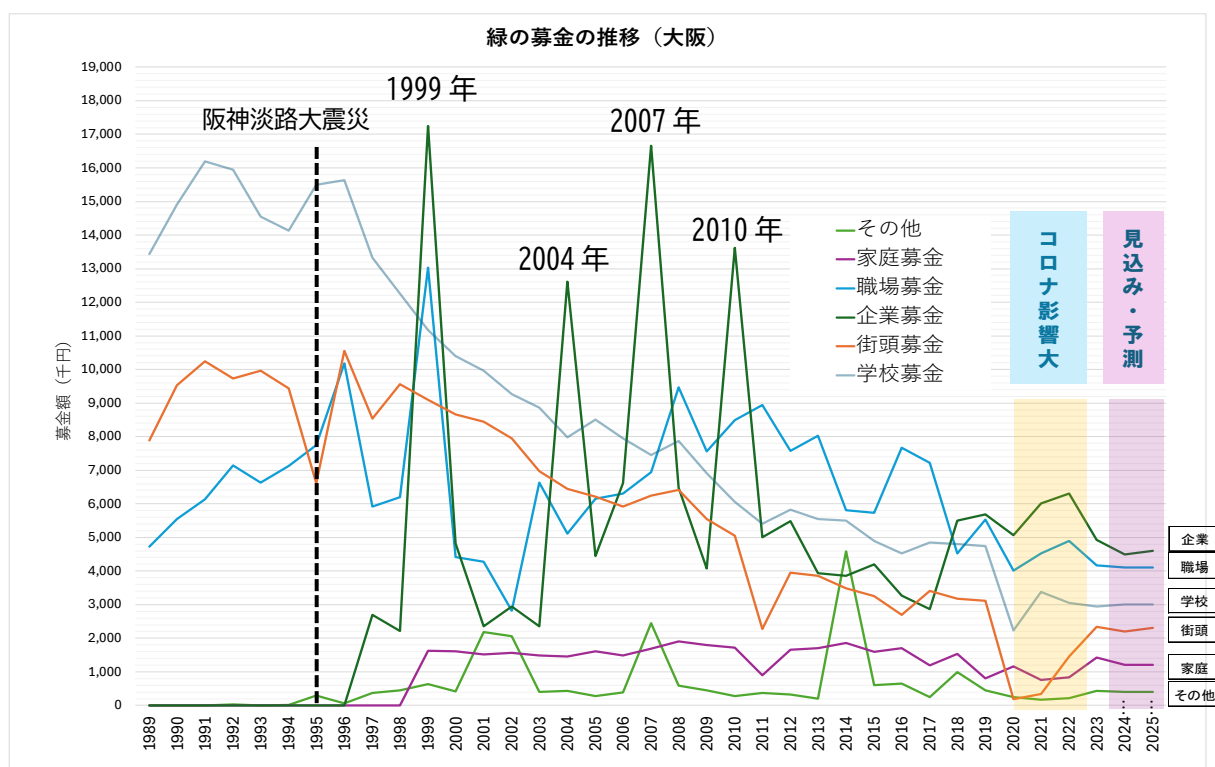
2021～2022 年にかけては回復傾向がみられたものの、コロナ禍以前の水準までは回復せず横ばい状態で推移しているため、2025 年度の募金収入は 2024 年度と同等程度の 15,600 千円（前年比 101%）と予測し、これをもとに事業を計画した。



参考：全国の緑の募金の推移



1989 年からの緑の募金実施主体別（種別）の推移を下図に示す。



※企業募金が突出した年の要因は次のとおり

1999（平成 11）年度：第 23 回全国育樹祭が大阪で開催された。詳細な資料は見つからないが、育樹祭への寄付があったと推察される。

2004（平成 16）年度：全労災大阪府本部・大阪労災創立 50 周年を記念し、公園・学校、府立施設の緑化に対する助成事業が行われた。それに伴い大口の寄付があった。

2007（平成 19）年度：木材関係企業と金融機関から大口の寄付があった。

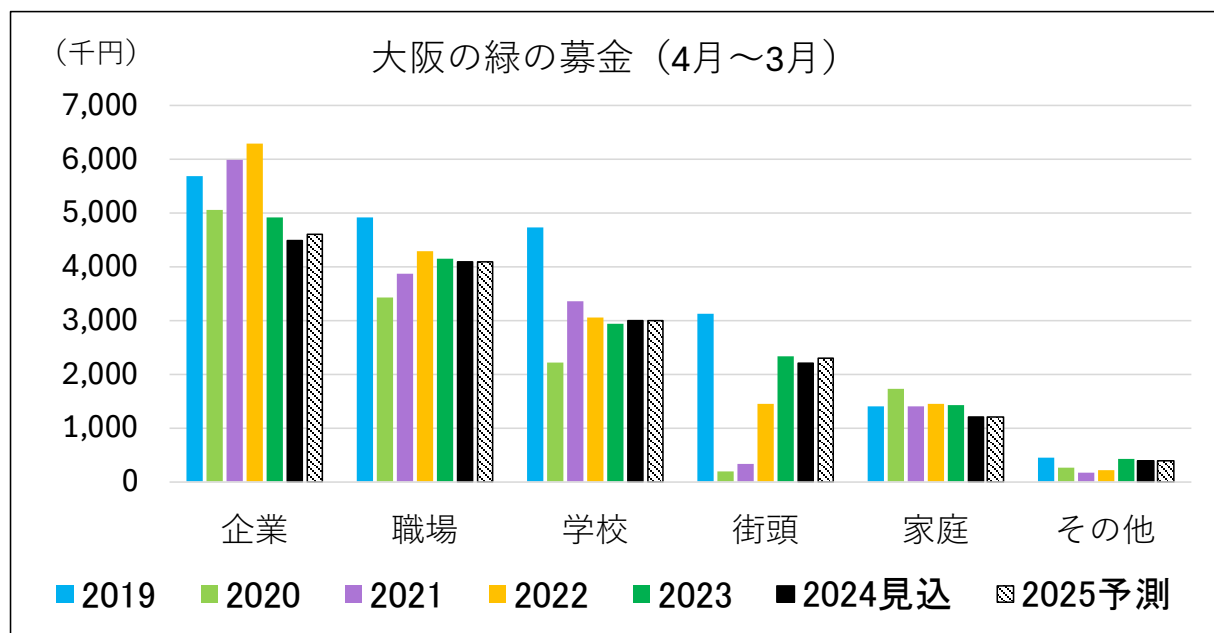
2010（平成 22）年度：木材関係企業から大口の寄付があった。

2025 年の予測について

種別	2025 年の予測
企業	企業の環境貢献取組の高まりを見込み 10 万円の増加を予測する。
職場	減少傾向がみられるが、前年同様の推移を予測する。
学校	減少傾向がみられるが、前年同様の推移を予測する。
街頭	近年の推移から 10 万円の増加を予測する。
家庭	増加要因が見込めず、前年同様の推移を予測する。
その他	増加要因が見込めず、前年同様の推移を予測する。

	コロナ前		コロナ影響大期間				見込み・予測	
年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024見込	2025予測
企業	5,505	5,684	5,071	6,004	6,302	4,926	4,500	4,600
職場	4,524	5,530	4,007	4,528	4,895	4,162	4,100	4,100
学校	4,809	4,736	2,231	3,372	3,055	2,945	3,000	3,000
街頭	3,173	3,120	192	339	1,448	2,340	2,200	2,300
家庭	1,539	798	1,159	763	841	1,426	1,200	1,200
その他	985	448	254	168	221	432	400	400
合計	20,535	20,316	12,914	15,175	16,762	16,231	15,400	15,600

(千円)



1. 緑の募金運動推進事業(予算 2172 千円)

(1) 募金活動の推進(予算 2167 千円)

2025 年度の募金目標額を 15,600 千円とし、以下の団体へ協力依頼し、街頭募金、学校募金、家庭募金、職場募金、企業募金等の募金を呼びかける。

種別	協力団体
街頭募金	日本ボーイスカウト大阪連盟、(一社)ガールスカウト大阪府連盟、大阪府緑の少年団連盟
学校募金	各市町村教育委員会、大阪私立中学校高等学校連合会 他
家庭募金	大阪府内 43 市町村
職場募金 企業募金等	大阪府、大阪府警察本部、近畿中国森林管理局、大阪商工会議所、大阪府木材連合会、大阪商工信用金庫、大阪府生活協同組合連合会、大阪いずみ市民生活協同組合、ダイドードリンコ(株) 他

募金キャンペーン期間を設け、各団体による街頭募金を集中的に実施するとともに、府内各地で行われる各市町村や各種団体等の緑化関連イベント等で緑の募金活動を強化し、周知を図る。

＜キャンペーン期間＞ ・春季 2025 年 3 月 1 日～5 月 31 日
・秋季 2025 年 9 月 1 日～10 月 31 日

＜募金資材の整備＞

緑の募金運動および普及啓発の円滑な推進を図るため、2025 年秋用および 2026 年春用の募金資材を整備し活用する。

ただし募金収入の予測と、資材の価格高騰を受けて、例年春と秋に製作しているオリジナルのピンバッジは、2025 年秋用については製作を取り止め、過去のバッジの活用を協力団体をお願いし、2026 年春用 1 回の製作とする。

また、資材配布時の配送料高騰を受け対策を検討する。

(2) 募金拡大(予算 5 千円)

近年、企業からの問い合わせや寄付企画の申し込みが増えつつあり、各企業のニーズに合わせた積極的な対応を行い、協力企業の拡大に努める。

また、現在、家庭募金は募金総額の約 8%にとどまっているため、家庭募金を行っている市や、他府県の事例を参考にして取り組み方法を検討し、大阪府の協力も得ながら市町村への協力依頼を進める。

WEB から募金ができる「つながる募金」や家庭に眠る物品の寄付(お宝エイド)物品寄付や遺贈による寄付等、募金方法の多様化に向けた仕組みづくりに取り組み、ホームページやイベント等で周知し、普及啓発を図る。

キャッシュレス募金については、(公社)国土緑化推進機構とともに導入に向けた取り組みを進める。

2. 緑化推進・森林の整備事業(予算 6,520 千円)

(1) 緑化事業等交付金(予算 3,400 千円)

募金活動に協力した団体や学校、企業による地域や学校の緑化を推進するため、集められた募金額の 40%を上限に、該当団体の申請に基づき緑化事業等交付金を交付する。

(2) 堺第7-3区「共生の森づくり」の推進 (予算 102 千円)

地球温暖化防止にかかる運動の一環として、堺第 7-3 区における市民・NPO 等が参加して実施されている「共生の森づくり」活動へ助成を行う。

(3) 生駒山系花屏風活動支援事業 (予算 734 千円)

生駒山系を屏風に見立てて彩豊かな“花屏風”を作る「生駒山系花屏風活動支援事業」への助成を行う。同事業を推進する生駒山系森づくりサポート協議会の活動や主催行事に参加し、緑の募金の PR を行う。

(4) 緑の少年団活動支援事業(予算 1,500 千円)

大阪府内の緑の少年団に対して活動助成を行うとともに、「子どもたちが緑や自然に触れ、森林や緑化に関する意識を高める」という目的に沿った連盟の運営・交流行事の開催が行われるよう、各国の自立を促しつつ大阪府緑の少年団連盟事務局として支援する。

(5) 緑化推進運営協議会の運営(予算 23 千円)

緑の募金の適切な運用を図るため有識者からなる緑化推進運営協議会を年 2 回以上開催する。

(6) 募金・緑化功労者の表彰(予算 4 千円)

募金額をもとに感謝状を贈呈する団体を選定し(公社)国土緑化推進機構に推薦する。

「大阪府みどりの功労者表彰」等、各種の表彰主催団体からの依頼をうけて推薦対象を選出し、推薦資料を作成・提出する。

(7) 国土緑化推進機構対応・中央交付金(予算 757 千円)

(公社)国土緑化推進機構に対して、中央交付金(広域的な森林整備や緑化の推進に活用される)として緑の募金の 2%相当額に 250 千円を加えた額を交付する。

3. 森林環境教育・森林 ESD の推進(予算 1,982 千円)

(1) みどりづくりの輪活動支援事業(予算 688 千円)

次世代を担う子どもたちが生物多様性や森林整備、木材の利用等について理解を深める機会となる活動の促進を図ることを目的に、子どもたちの参加による自然環境保全活動や緑化活動、森林整備活動、森林に関する学習等に助成を行う。また、これらの活動組立てや整備計画立案にあたり、専門家による助言を得られるよう、専門家の紹介や相談時の費用助成等の支援を行う。

(2) みどりの一歩事業(予算 870 千円)

幼稚園、保育園、こども園等で身近なみどりづくり(植樹)と環境教育「みどりの教室」を行う。

なお、募金収入予測から財源確保が難しいため、(公社)国土緑化推進機構による緑の募金助成に採択された場合に実施するものとする。

(3) 森林環境教育・森林 ESD の推進(予算 68 千円)

大阪府立中央図書館・林野庁近畿中国森林管理局等と連携し、森林環境教育・森林 ESD の普及啓発を目的としたパネル展等を実施する。

(4) 教育大学学生向け講習の企画・運営(予算 130 千円)

大阪教育大学、大阪森林インストラクター会等と連携し、教育大学学生を対象に森林 ESD を体験する講習を実施する。

(5) ポスターコンクールの実施(予算 226 千円)

国土緑化運動を推進するためのポスター原画コンクールに参加し、優秀作品を選出し表彰する。

4. 普及啓発事業(予算 396 千円)

(1) 会報誌・メールマガジンの発行(予算 154 千円)

前年度の事業報告と当該年度の事業計画をわかりやすく編集した年次報告書形式の会報誌「アニュアルレポート」を年 1 回 7 月頃に発行する。イベント情報や保全活動地の様子、緑の募金の活用方法等をまとめたメールマガジンを、会員や関係する団体や個人に月 1 回のペースで定期的に配信する。

(2) ホームページ・SNS の運営(予算 79 千円)

ホームページ、SNS (Facebook 及び Instagram) は会報誌やメールマガジンと連動させて、緑の募金のキャンペーン情報や助成事業についてタイムリーにお知らせする。また募金を活用して行われた事業の報告等を随時更新する。

(3) 普及啓発イベントへの参加(予算 98 千円)

緑の募金を活用して進める「生物多様性の保全」、「木材の利活用促進」、「森林 ESD の推進」等に関する府民の理解を深め、緑の募金への協力を呼び掛けるため、関連イベントへ出店しパネル展示等を行う。

イベント等の情報発信として、大阪府から配信するホームページ「まいのち」(2025 年 4 月から公開) や、「おおさか生物多様性応援宣言団体」のメーリングリストを活用する。

(4) その他(予算 65 千円)

編集ソフトの年間使用料。

5. 推進事業体制の整備(予算 6,250 千円)

緑の募金事業推進に伴う事務所経費および人件費等、必要な事務的経費を支出する。

令和7(2025)年度「緑の募金」収支予算(案)

単位:千円

項目	① 2024年度 予算額	② 2024年度 決算見込み	③ 2025年度 予算額	前年度 予算対比 ③-①	2025予算 備考
I 収入の部					
1. 緑の募金収入	15,600	15,403	15,600	0	
2. 助成金等収入(受取受託金)	0	50	0	0	
3. 運用財産利息収入	0	0	0	0	
4. 民間補助金	911	778	1,720	809	国土緑推助成金(緑の少年団とみどりの一歩事業)
5. 雑収入	0	1	0	0	
当期収入合計(A)	16,511	16,232	17,320	809	
前期繰越収入差額(B)	△ 4,234	△ 4,237	△ 4,237	△ 3	
収入合計(C)=(A)+(B)	12,277	11,995	13,083	806	
II 支出の部					
1. 緑の募金推進事業					
募金活動推進	1,778	1,984	2,167	389	資材整備他。募金収入に相応
募金拡大	6	4	5	△ 1	
小計	1,784	1,988	2,172	388	
2. 緑化推進・森林の整備事業					
緑化事業等交付金	3,390	3,162	3,400	10	募金額の約22%
堺第7-3区「共生の森づくり」推進	101	102	102	1	
生駒山系花屏風活動支援事業	943	734	734	△ 209	使途指定募金額に相応
緑の少年団活動支援事業	1,000	1,012	1,500	500	交流集会経費(バス代)の値上がり
緑化推進運営協議会の運営	17	24	23	6	2回開催
募金・緑化功労者の表彰	4	2	4	0	
国土緑化推進機構対応・中央交付金	762	751	757	△ 5	中央交付金は募金収入に相応
小計	6,217	5,786	6,520	303	
3. 森林環境教育・森林ESD推進事業					
みどりづくりの輪活動支援事業	685	782	688	3	専門家の紹介や相談時の費用助成を継続 5件を予定
「学校に森林と木の香りを」整備事業	0	0	0	0	「みどりづくりの輪」に統合
みどりの一歩事業(平和の緑づくり事業)	911	778	870	△ 41	民間補助金に相応
森林環境教育・ESD推進	83	59	68	△ 15	
教育大学学生向け講習の企画・運営	70	106	130	60	
ポスターコンクールの実施	225	247	226	1	
小計	1,974	1,972	1,982	8	
4. 普及啓発事業					
会報誌・メールマガジンの発行	141	141	154	13	
ホームページ・SNSの運営	80	79	79	△ 1	
普及啓発イベントへの参加	77	105	98	21	
その他	57	65	65	8	PCソフトライセンス料等
小計	355	390	396	41	
5. 推進事務費	6,181	6,096	6,250	69	
当期支出合計(D)	16,511	16,232	17,320	809	
当期収支差額(A)-(D)	0	0	0		
次期繰り越し収支差額(C)-(D)	△ 4,234	△ 4,237	△ 4,237		

貸 借 対 照 表

(2024年3月31日現在)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部	円	円	
1 流動資産			
現金預金	8,328,324	6,640,104	1,688,220
未収金	2,221,158	3,780,341	△ 1,559,183
立替金	1,309,493	3,638,837	△ 2,329,344
前払金	352,170	381,368	△ 29,198
流動資産合計	12,211,145	14,440,650	△ 2,229,505
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	3,310,418	3,310,418	0
普通預金	19,592	10,000	9,592
投資有価証券	239,986,500	244,958,000	△ 4,971,500
基本財産合計	243,316,510	248,278,418	△ 4,961,908
(2) 特定資産			
トラストファンド			
普通預金	1,100,040	869,567	230,473
投資有価証券	22,186,560	22,762,520	△ 575,960
トラストファンド合計	23,286,600	23,632,087	△ 345,487
特定費用準備資金			
地黄湿地保全事業準備資金			
普通預金	1,361,447	2,762,617	△ 1,401,170
大阪里山ネットワーク運営準備資金			
普通預金	2,951,637	3,759,381	△ 807,744
特定費用準備資金合計	4,313,084	6,521,998	△ 2,208,914
特定資産合計	27,599,684	30,154,085	△ 2,554,401
(3) その他固定資産			
備品	96,741	218,096	△ 121,355
車両	1	1	0
長期前払費用	8,830	8,830	0
立木	1,023,000	1,023,000	0
その他固定資産合計	1,128,572	1,249,927	△ 121,355
固定資産合計	272,044,766	279,682,430	△ 7,637,664
資産合計	284,255,911	294,123,080	△ 9,867,169
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	7,723,303	7,299,900	423,403
前受金	543,000	599,000	△ 56,000
預り金	72,450	39,822	32,628
流動負債合計	8,338,753	7,938,722	400,031
負債合計	8,338,753	7,938,722	400,031
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
大阪府出捐金	100,000,000	100,000,000	0
寄附金	126,341,618	126,341,618	0
有価証券評価差額	16,974,892	21,936,800	△ 4,961,908
基本財産合計	243,316,510	248,278,418	△ 4,961,908
ブナの森トラストファンド	14,892,102	15,104,716	△ 212,614
ゼフィルスの森トラストファンド	8,394,498	8,527,371	△ 132,873
トラストファンド合計	23,286,600	23,632,087	△ 345,487
指定正味財産合計	266,603,110	271,910,505	△ 5,307,395
(うち基本財産への充当額)	(243,316,510)	(248,278,418)	△ 4,961,908
(うちトラストファンドへの充当額)	(23,286,600)	(23,632,087)	△ 345,487
(うち特定費用準備資金への充当額)	(0)	(0)	0
2 一般正味財産	9,314,048	14,273,853	△ 4,959,805
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うちトラストファンドへの充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定費用準備資金への充当額)	(4,313,084)	(6,521,998)	△ 2,208,914
正味財産合計	275,917,158	286,184,358	△ 10,267,200
負債及び正味財産合計	284,255,911	294,123,080	△ 9,867,169

正味財産増減計算書内訳表

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合計
	公 1 自然環境保全事業	公 2 緑の募金事業	共 通	小 計		
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用益	0	0	0	0	3,526,564	3,526,564
基本財産受取利息	0	0	0	0	3,526,564	3,526,564
特定資産運用益	48,400	0	0	48,400	0	48,400
特定資産受取利息	48,400	0	0	48,400	0	48,400
受取会費	1,048,000	0	0	1,048,000	0	1,048,000
会員受取会費	1,048,000	0	0	1,048,000	0	1,048,000
受取補助金等	23,185,300	50,000	0	23,235,300	0	23,235,300
受取国庫補助金	6,714,300	0	0	6,714,300	0	6,714,300
受取地方公共団体補助金	11,119,000	0	0	11,119,000	0	11,119,000
受取民間補助金	4,150,000	0	0	4,150,000	0	4,150,000
受取受託金	1,202,000	50,000	0	1,252,000	0	1,252,000
受取負担金	988,711	0	0	988,711	0	988,711
受取負担金	988,711	0	0	988,711	0	988,711
受取寄付金	3,054,396	16,230,675	0	19,285,071	0	19,285,071
受取寄付金	3,054,396	0	0	3,054,396	0	3,054,396
募金収益	0	16,230,675	0	16,230,675	0	16,230,675
雑収益	76,992	66,918	0	143,910	126	144,036
受取利息	0	11	0	11	126	137
雑収益	76,992	66,907	0	143,899	0	143,899
経常収益計	28,401,799	16,347,593	0	44,749,392	3,526,690	48,276,082
(2) 経常費用						
事業費	32,825,776	17,286,327	0	50,112,103		50,112,103
役員報酬	819,000	702,000	0	1,521,000		1,521,000
給料手当	11,500,060	3,491,748	0	14,991,808		14,991,808
福利厚生費	1,625,319	611,678	0	2,236,997		2,236,997
会議費	1,100	7,500	0	8,600		8,600
旅費交通費	1,876,418	256,940	0	2,133,358		2,133,358
通信運搬費	419,695	543,252	0	962,947		962,947
減価償却費	121,355	0	0	121,355		121,355
消耗品費	1,624,121	2,723,114	0	4,347,235		4,347,235
印刷製本費	488,885	236,789	0	725,674		725,674
燃料費	151,905	42,152	0	194,057		194,057
賃借料	3,261,879	908,040	0	4,169,919		4,169,919
保険料	625,046	7,254	0	632,300		632,300
使用料	578,048	124,330	0	702,378		702,378
委託費	5,775,985	502,738	0	6,278,723		6,278,723
募金事務費	0	145,159	0	145,159		145,159
諸謝金	1,821,022	154,000	0	1,975,022		1,975,022
支払負担金	1,288,040	180,080	0	1,468,120		1,468,120
支払助成金	547,000	2,654,731	0	3,201,731		3,201,731
支払手数料	242,390	166,648	0	409,038		409,038
緑化事業等交付金	0	3,825,374	0	3,825,374		3,825,374
光熱水費	6,538	0	0	6,538		6,538
租税公課	51,970	2,800	0	54,770		54,770
管理費					3,123,784	3,123,784
役員報酬					919,000	919,000
給料手当					635,736	635,736
福利厚生費					258,399	258,399
旅費交通費					8,026	8,026
通信運搬費					44,428	44,428
消耗品費					84,959	84,959
印刷製本費					16,060	16,060
賃借料					297,180	297,180
保険料					44,000	44,000
使用料					485,672	485,672
委託費					132,000	132,000
支払負担金					72,011	72,011
支払手数料					126,313	126,313
経常費用計	32,825,776	17,286,327	0	50,112,103	3,123,784	53,235,887
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 4,423,977	▲ 938,734	0	▲ 5,362,711	402,906	▲ 4,959,805
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	▲ 4,423,977	▲ 938,734	0	▲ 5,362,711	402,906	▲ 4,959,805
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	▲ 4,423,977	▲ 938,734	0	▲ 5,362,711	402,906	▲ 4,959,805
他会計振替額	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	▲ 4,423,977	▲ 938,734	0	▲ 5,362,711	402,906	▲ 4,959,805
一般正味財産期首残高	18,058,962	▲ 3,298,051	0	14,760,911	▲ 487,058	14,273,853
一般正味財産期末残高	13,634,985	▲ 4,236,785	0	9,398,200	▲ 84,152	9,314,048
II 指定正味財産増減の部						
受取寄付金	230,473	0	0	230,473	0	230,473
基本財産評価損益	0	0	0	0	▲ 4,961,908	▲ 4,961,908
特定資産評価損益	▲ 575,960	0	0	▲ 575,960	0	▲ 575,960
当期指定正味財産増減額	▲ 345,487	0	0	▲ 345,487	▲ 4,961,908	▲ 5,307,395
指定正味財産期首残高	23,632,087	0	0	23,632,087	248,278,418	271,910,505
指定正味財産期末残高	23,286,600	0	0	23,286,600	243,316,510	266,603,110
III 正味財産期末残高	36,921,585	▲ 4,236,785	0	32,684,800	243,232,358	275,917,158